

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
E119P006		小学校教材研究 (Teaching Materials of Elementary School Education)															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
必修(H31以前入学生)・選択必修(R2以降入学生)	2	3	教育学部			氏名 藤原耕作、安道百合子 / 川崎道広、大野貴雄、中川裕之 / 橋本美喜男、麻生雄治 E-mail fujiwarakosaku@oita-u.ac.jp, y-andou@oita-u.ac.jp / mkawasa@oita-u.ac.jp, t-											
授業の概要	国語、算数、英語の3教科につき、各教科に対する的確な指導実践力を身につけるために、小学校の教科書掲載の教材を具体的に取り上げて検討し、それぞれの教材を扱うための知識・技能を確かなものとして、教育実習(小)につなげる。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1	3教科それぞれにおける教材の特性を説明できる。																
目標2	教科ごとの教材の研究方法を説明できる。																
目標3	それぞれの教材にふさわしい授業の工夫を説明できる。																
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1	国語(1):物語教材 「仙人」(初読の感想)																
2	国語(2):物語教材 「仙人」(主要作品論)																
3	国語(3):物語教材 「ちいちゃんのかげおくり」(時代背景)																
4	国語(4):古典教材 「春はあけぼの」																
5	国語(5):古典教材 「竹取物語」																
6	算数(1):数と計算																
7	算数(2):図形																
8	算数(3):数学的活動																
9	算数(4):測定・変化と関係																
10	算数(5):データの活用																
11	英語(1):英語の音声について																
12	英語(2):英語の文字について																
13	英語(3):英語の語彙について																
14	英語(4):英語の文構造について																
15	英語(5):文の意味とコミュニケーションについて																
ラーニング	A:知識の定着・確認	毎回、レポート・ワークシート等を課す。				工夫	なし。										
	B:意見の表現・交換					その											
	C:応用志向					他											
	D:知識の活用・創造					の											
時間外学習の内容と時間の目安	準備学修	シラバスの授業予定を参考に、『小学校学習指導要領』や『小学校学習指導要領解説』の該当箇所を予習する(15h)。															
	事後学修	授業時間内で扱った題材や関連する内容を、小学校の教科書等で確認・復習する(30h)。															
教科書	プリントを配布する。																
参考書	"小学校学習指導要領 平成29年告示 / 文部科学省〔著〕/東洋館出版社/2018年02月" "小学校学習指導要領 平成29年告示 解説 国語編 / 文部科学省〔著〕/東洋館出版社/2018年02月" "小学校学習指導要領 平成29年告示 解説 算数編 / 文部科学省〔著〕/日本文教出版/2018年03月"																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	レポート	50%															
	ワークシート	50%															
注意事項	初回到授業についての基本的な説明をするので、受講予定者は必ず出席すること。																
備考	なし。																
リンク	URL																

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の实務 経験	高等専門学校に2年間勤務（大野）
実務経験を いかした教 育内容	教育実習（小）への接続を意識した授業展開を行う。